

# 討論

会派の構成人数により文字数に違いがあります。

## 当初予算に反対 有機フッ素化合物の地下水への影響をさらに調査するべき

日本共産党(星野 久美子 議員)

有機フッ素化合物による水質汚染は大きな心配事です。環境補正協定の改善は求めず、因果関係が分かっていないとの理由から基地内の調査も求めないことですが、最優先すべきは市民の安全・安心です。また、地下水・湧水中の有機フッ素化合物の分析は年2回、流入排水路の調査は年1回とのことですが、暫定目標値の超過有無にかかわらず、複数回調査すべきであり、国、米軍との関係よりも、大切な水や市民の暮らしを守ることを優先に考えるべきです。



## 座間市公明党の主張の多くが予算に反映されたことを評価

座間市公明党(加藤 学 議員)

議案第8号、令和5年度座間市一般会計予算について、我々座間市公明党が令和4年の秋に市長に対して、小児医療費助成事業を18歳まで拡大するように要望したことが予算措置されました。その他にも、学校給食費の公会計化の実施や、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進事業では、デジタルデバイス対策としてコールセンターが設置されました。また、在宅で人工呼吸器を使用している医療的ケア児・者の支援策として、日常生活用具給付費に非常用電源が追加対象となりました。子育て世代への支援策では、妊婦及び0歳から3歳児の養育者の移動に係る



## 座間産米の学校給食への使用を盛り込むなどの一般会計予算を評価

会派に属さない議員(長瀬 未紗 議員)

当初予算は、子育て支援に重点を置き、多様性社会、循環型社会実現のための予算であると認識しています。地産地消促進事業費は、座間産米

## 令和5年度予算について 各事業が必要と捉え賛成

自民党(いさま(竹田 陽介 議員)

議案第8号、令和5年度座間市一般会計予算について、令和5年度は、第五次座間市総合計画の初年度であり、同計画の目指すまちの姿「ひと・まちが輝き 未来へつなぐ」の実現に向けて、7の政策と32の施策に沿った事業が着実に執行できる予算編成を心がけたとのこと。注目すべきところは、小児医療費助成の対象年齢及び世帯の拡充です。対象年齢の拡充等は、自民党・いさまとしても常に求めてきた部分であり、県の助成対象が小学6年生まで拡充されることに伴い、本市で設定していた所得による制限を撤廃し、さらに、令和5年10月からは、18歳を迎えた3月まで助成対象とするとのこと。

次に、小田急相模原駅周辺地区市街地再開発事業費について、ペDESTリアンデッキ建設は、令和5年度末に作成される学校施設再編計画の結果を受けて、最終的に市長が判断するとの考えが委員会でも明らかになりました。他にも、デジタルトランスフォーメーション(DX)推進事業における税証明書や住民票等の発行手数料等のキャッシュレス決済や、デジタルデバイス対

## 2023年度の一般会計予算 前市長とは異なる「佐藤カラー」を評価

会派に属さない議員(沖永 明久 議員)

子ども・子育て分野の新たな施策展開と予算配分は、市長の予算編成方針である「選択と集中により、必要性や緊急性、費用対効果が高い事業

## 限りある財源の活用と 市民を巻き込んだ取組を評価

ざま大志会(松橋 淳郎 議員)

議案第3号、令和4年度座間市一般会計補正予算について、本補正予算においては、当局による執行管理を徹底した上で発生した不用額を他の事業への執行財源として活用しています。また、新型コロナウイルス感染症対策のため

## 相模が丘なかよし広場の都市公園化に賛意 借地公園の今後に期待

会派に属さない議員(安海 のぞみ 議員)

地権者の方々のご厚意により多目的広場として使用してきたなかよし広場の一部返還で、広場の存続に多くの市民が不安を感じていた中、都市

## 議案書の貸し出しについて

傍聴される方に、審議している内容等をご確認いただけるように議案書の貸し出しを行っています。数に限りがありますが、希望される方は、傍聴受付時に係員にお申し付けください。



沖永明久(会派に属さない議員)  
総括質疑(2月17日)  
吉田義人(自民党・いさま)、沖本浩二(ざま大志会)、加藤学(座間市公明党)、星野久美子(日本共産党)、安海のぞみ(会派に属さない議員)、長瀬未紗(会派に属さない議員)、須崎友康(会派に属さない議員)、沖永明久(会派に属さない議員)

議案第22号に対する質疑(2月17日)  
守谷浩一(日本共産党) 討論(3月24日)  
星野久美子(日本共産党)、加藤学(座間市公明党)、長瀬未紗(会派に属さない議員)、竹田陽介(自民党・いさま)、沖永明久(会派に属さない議員)、松橋淳郎(ざま大志会)、安海のぞみ(会派に属さない議員)

議案第24号・25号に対する質疑(3月24日)  
守谷浩一(日本共産党)